

編集後記

リポジトリ公開のみの『京都芸術大学大学院紀要』第3号を刊行いたします。
本学大学院生の研究成果を世に問う論文集です。

新型コロナウイルスの感染防止のためのさまざまな制限が緩和されつつある中、4月28日のエントリー票提出締め切り時に21件の申請があり、その後2件は著者により取り下げられました。7月15日の論文提出締め切りまでに19件が紀要委員会に届きました。各論文は学内外の専門家2名による厳正な査読を経た後、修正が加えられ、18件が公開されることになりました。博士課程に在籍する1年生から3年生の多種多様な論考です。

本学大学院博士課程には理論研究のみを行う学生と理論研究及び制作研究を行う学生がおり、博士号取得にはどちらも学位申請論文の提出が課せられています。本紀要に掲載された論文の多くは学位申請論文の一部となっていく研究成果です。

皆さまにご高覧いただき、参考にしていただくとともにご批判を賜りますようお願いいたします。

2022年11月1日

京都芸術大学大学院芸術研究科 芸術専攻（博士課程）専攻長
京都芸術大学大学院紀要委員会編集長
河上眞理